

令和 8 年度開成町当初予算提案趣旨説明

令和 8 年 3 月定例会議提出

令和 8 年度開成町当初予算の提案にあたり、町の現状の認識と、町政運営に対する所信及び施策の概要を説明させていただきます。

政府の「令和 8 年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」によると、我が国の経済見通しは、所得環境の改善が進む中で、各種政策効果も下支えとなり、個人消費が増加することで、引き続き、国内需要中心の経済成長となることが期待されています。

危機管理投資や成長投資の取組が進み、設備投資も増加する見通しとされ、令和 8 年度の実質 GDP 成長率は 1.3% 程度、名目 GDP 成長率は 3.4% 程度、消費者物価（総合）は 1.9% 程度の上昇率になると見込まれています。

国の経済財政運営の基本的態度としては、戦略的な財政出動により官民が力を合わせ「危機管理投資」と「成長投資」を進め、社会課題を解決し、「暮らしの安全・安心」を確保するとともに、雇用と所得を増やし、潜在成長力を引き上げ、「強い経済」を実現していく、としています。

そして、経済成長を通じて税収を増やし、成長率の範囲内に債務の伸びを抑制することで、財政の持続可能性を実現し、「強い経済」の実現と財政健全化の両立を目指すとされています。

本町の令和 8 年度予算は、第六次開成町総合計画に掲げる将来都市像「人と地域が輝き、笑顔と躍動感あふれるまち・開成」の実現に向けた 7 つの基本目標のうち「未来を担うこどもを育むまち」「人のつながりでつくる安全・安心なまち」「利便性が高く、快適な都市空間が整ったまち」を重点項目として編成しました。

一般会計予算の総額は、過去最大規模 85 億 3,000 万円としました。

歳入の根幹である税収は、個人町民税が賃金の上昇などにより増となり、過去最大規模となる見込みです。

町税総額は 33 億 6,911 万 6 千円で、歳入全体の 39.5% を占めます。

地方交付税は、令和7年度の法人町民税の減収や人口増、物価賃金高騰の影響により、前年度比6億3,000万円増の12億6,000万円を見込んでいます。

町税に地方交付税、譲与税及び各種交付金等を加えた一般財源総額は前年比6億2,847万8千円増の52億3,411万7千円を見込んでいます。

その他の歳入については、寄附金はふるさと納税収入の増により前年比1億2,000万円増の3億300万5千円を計上しました。

町債については、駅前通り線周辺地区土地区画整理事業及び教職員用端末の更新等で借入を予定しています。

町債全体では前年度比6,150万円減の4億8,450万円を計上しました。

歳出においては、中長期的に持続可能な町政運営の実現に着実に取り組んでいくため、選択と集中によって、より効果的かつ効率的に事業を推進していきます。

目的別予算額では、総務費は基幹業務システムの全国統一化・標準化への対応費の減などにより、前年度比4,611万9千円減の11億6,895万4千円を計上しました。

衛生費は、ゼロカーボンシティ創成事業補助金及びごみ処理広域化推進事業に係る負担金の増などにより、前年度比5,799万1千円増の7億5,254万5千円を計上しました。

土木費は、駅前通り線周辺地区土地区画整理事業特別会計への繰出金の減などにより、前年度比6,019万8千円減の10億5,293万6千円を計上しました。

諸支出金は、財政調整基金積立金の増により前年度比で大幅増の2億2,940万3千円を計上しました。

性質別予算額では、人件費は令和7年人事院勧告を踏まえた月例給の引き上げ等に伴い、前年比4,779万7千円増の14億2,397万5千円を計上しました。

物件費は、ふるさと納税に係る委託料の増などにより、前年比2,287万2千円増の15億6,761万2千円を計上しました。

扶助費は、保育所入所児童に係る給付費及び障がい児通所に係る給付費

の増などにより、前年比 8,401 万 9 千円増の 20 億 608 万 9 千円を計上しました。

普通建設事業費は、民間保育所整備費補助金の減などにより、前年度比 1,974 万 3 千円減の 3 億 893 万 7 千円を計上しました。

繰出金は、駅前通り線周辺地区土地区画整理事業特別会計への繰出金の減などにより、前年度比 9,215 万 5 千円減の 11 億 232 万 4 千円を計上しました。

続いて、特別会計及び企業会計です。

国民健康保険特別会計については、子ども・子育て支援納付金保険税の創設や、診療報酬の改定による県への国民健康保険事業費納付金の増などにより、予算総額は、前年度比 5,324 万 9 千円増の 16 億 1,480 万 3 千円を計上しました。

介護保険事業特別会計については、施設サービス等の給付が減少した一方で、居宅サービス等の給付が増加したことなどにより、予算総額は、前年度比 1,181 万 3 千円減の 15 億 8,916 万 7 千円を計上しました。

給食事業特別会計については、給食材料費の高騰などにより、予算総額は、前年度比 1,862 万 4 千円増の 1 億 3,871 万 7 千円を計上しました。

後期高齢者医療事業特別会計については、保険料率の見直しで一人当たりの保険料が増加することなどにより、予算総額は、前年度比 3,898 万 2 千円増の 3 億 7,554 万 4 千円を計上しました。

駅前通り線周辺地区土地区画整理事業特別会計については、宅地造成にかかる費用の増の一方で、用地取得費が減となったことなどにより、予算総額は、前年度比 1 億 8,668 万 1 千円減の 5 億 8,596 万 3 千円を計上しました。

水道事業会計については、水道施設及び配水管工事費の増などにより、予算総額は、前年度比 3,414 万 3 千円増の 4 億 5,739 万 4 千円を計上しました。

下水道事業会計については、管渠布設工事費の減などにより、予算総額は、前年度比 4,481 万 5 千円減の 8 億 3,920 万 6 千円を計上しました。

それでは、令和8年度予定事業の概要について、第六次開成町総合計画の7つの基本目標に沿って説明させていただきます。

【1 未来を担うこどもを育むまち】

安心してこどもを産み、育てることができる環境づくりを進めます。

こども・子育て支援では、次世代を担うこどもの誕生を祝福し、健全な育成を支援するため、新たに出生祝金制度を開始します。1人当たり5万円、第3子以降の場合には1人当たり10万円を支給します。

こどもと子育て世帯を支援する事業の継続性を確保するため、こども子育て応援基金を創設します。

すべての妊婦が安心して定期的な健診を受けられる環境をさらに整備するために、妊婦健康診査費の助成額を、1人当たり8万円から11万1千円に増額します。また、助成方法を補助券方式から受診券方式に切り替え、利便性向上を図ります。

町立開成幼稚園においては、令和7年度に拡充した預かり保育事業を、冬休み・春休みの長期休暇中も実施することとし、通年で利用が可能な体制を整えます。また、就園前のこどもを持つ親子の交流や相談の場として、プレ保育事業を新たに実施します。

民間保育所の施設整備を補助し、低年齢児の利用定員を増やします。また、保育士の確保策として、保育士宿舍借り上げ支援事業を新たに実施します。

こども誰でも通園制度に対応し、全てのこどもの育ち及び子育て家庭を支援します。

学校教育では、中学校の部活動の地域展開事業を引き続き実施します。計11部活を地域展開し、休日の地域展開事業としては完成を見込みます。

教職員が使用する校務用端末の更新において、ゼロトラストセキュリティを導入し、校務系・学習系のネットワークを一元的に利用できる環境を整え、教職員の一段の業務効率化を図ります。

【2 みんなで支え合い、健やかに暮らせるまち】

ライフステージに応じた健康づくり、生きがいづくり、地域医療の充実、福祉の充実などを通じて全ての町民の健康増進と健康寿命の延伸を図ります。

働き世代の健康意識の向上を図ることを目的として、町内事業所を対象に、健康機器による測定や健康教育を引き続き実施します。

予防接種では、母子免疫RSウイルスワクチンが新たに定期接種化されます。

食育においては、吉田島高校との連携事業を引き続き実施します。また、災害時の食事の際にも役立つパッキング講座を新たに実施します。

高齢者向けの健診事業においては、受診者の利便性の向上を図るため、一部試行的に集団健診を実施します。

高齢者の健康寿命の延伸に向け、生活機能の低下を防ぐ「フレイル予防」を引き続き推進します。フレイルチェックにより低栄養や要介護リスクがある方を早期に発見し、専門職らによる集中的な健康指導を実施し、介護予防に繋がります。また、自発的な予防活動を促すことで、住み慣れた地域での自立した生活を支援します。

重度障がい者の社会参加を促進するため、施設通所交通費補助事業を創設し、障がい福祉サービス事業所へ通所する際の交通費の一部を補助します。

あわせて、既存の福祉タクシー利用助成事業についても、これまでの初乗り運賃方式から金券方式に変更し、障がい者などの移動支援をより充実させます。

【3 誰もが自分らしく輝くまち】

誰もが生涯にわたって文化・芸術やスポーツなどに親しめるまちづくりを進めます。

生涯学習では、地域の人材を活用しながら、生涯学習講座、はじめての三歳児講座など各種講座を開催します。

町民センター3階の放送室スペースに試行的に設置した学習室にWi-Fiなどを追加で整備し、本格稼働させます。今後も、町民の学習環境の整備を進め、質の向上を目指します。

検定料の補助については、英語能力の検定試験、漢字検定及び数学検定に対する補助を引き続き行います。

図書室では、図書に親しむ機会をさらに創出し、読書習慣を身につけてもらうため、蔵書の充実を図ることはもちろんのこと、図書室での貸出時

に図書を持ち帰るためのライブラリーバッグを未就学児に引き続き配付します。

スポーツ分野では、施設利用者の利便性向上を図るため、施設予約システムを構築します。マラソン大会出場補助金については、これまで小中学生としていた対象者に、新たに大人も追加し、全世代の運動促進を図ります。

【4 人のつながりで作る安全・安心なまち】

町民同士が助け合い、支えあうことで災害に強く、地域で安心して暮らせる地域防災力が強いまちづくりを進めます。

避難所としても利用される地域集会施設において、LED化工事を引き続き実施します。令和8年度中に、全ての地域集会施設におけるLED化の完了を目指します。

松ノ木河原多目的広場は、大規模災害時に車中泊避難場所や物資の集積場所などとして活用できる防災広場として、引き続き整備を進めます。令和8年度は第2期工事として、広場の一部を舗装し、平時に消防団の訓練等で活用できるよう整備します。

町民の自助力の向上を図るため、災害時非常用持ち出し袋の購入補助を行います。また、こどもや外国人でも内容を理解しやすい、やさしい日本語版の防災ガイドを作成します。

犯罪の未然防止や事件、事故等の早期解決を図るため、新たに防犯カメラを2基設置します。

【5 恵み豊かな環境を未来につなぐまち】

近年、甚大な被害をもたらす自然災害が地球規模で発生し、国内でも猛暑や集中豪雨などの異常気象が頻発しています。

その一因とされる地球温暖化に対して、温室効果ガスの削減やエネルギーの地産地消を進めます。

そして、引き続き、町内の豊かな自然環境を維持し、環境美化を進め、清潔で美しいまちづくりを推進します。

2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを実現することを目的に創設した「開成町ゼロカーボンシティ創成補助制度」については、令和8年度が国の重点対策加速化事業を活用する補助事業の最終年度となります。ゼ

ロカーボンシティ創成パートナー企業と連携し、町民や中小企業等を対象とした補助制度の活用を促進します。

また、町の率先行動として開成南小学校及び文命中学校の屋上に太陽光発電設備を設置します。

きれいで美しいまちづくりのため、町と町民、事業者、各種団体などが連携した、地域の環境美化運動として「かいせいクリーンデー」を引き続き実施し、環境美化の啓発に努めます。

ごみ処理にかかる費用及び環境負荷を減らすために、可燃ごみの減量化に取り組めます。生ごみに含まれる水分に着目し、電動生ごみ処理機の購入費を補助します。さらに、水切り生ごみ処理袋を有償で頒布します。

足柄上地区1市5町が共同で利用する新しい可燃ごみ処理施設については、実施設計を行います。

【6 利便性が高く、快適な都市空間が整ったまち】

引き続き、道路、河川・水路等を整備し、安全で安心なまちづくりを進めます。また、せせらぎや水辺、緑地や農地など本町ならではの地域資源の維持と、快適な住環境や交通等の利便性が両立したまちをめざします。

駅前通り線周辺地区土地区画整理事業は、地権者に対する補償を引き続き行うとともに造成工事を行います。また、駅前通り線とみなみ地区をつなぐ、仙了川にかかる新橋を建設します。

足柄産業集積ビレッジ構想については、事業の実現に向けた地権者との合意形成を図るために、説明会を実施し、企業誘致のための活動を行います。

南部第3地区では、地権者との合意形成に向けた説明会を実施し、計画の策定等を行います。

町道については、計画的な修繕、狭あい道路の拡幅など、町民に身近な生活道路の整備や計画的な維持管理に取り組めます。榎本地区の町道204号線の拡幅工事を実施します。また、町道舗装維持整備計画や自治会要望に基づき、順次、舗装補修を進めます。

水路についても、設備更新や土砂浚渫等により適切に管理し、水を適正に流すことで災害を未然に防ぎます。

公園については、トイレの洋式化を順次行うとともに、松ノ木河原第1公園及び水辺スポーツ公園にインクルーシブ遊具を新たに設置します。

上水道については、安全・安心な水道水を安定して供給できるよう、第2水源地取水ポンプの更新工事を行うなど、計画的に水道施設の改修を進めます。

下水道については、汚水処理整備計画のアクションプランに基づき、環境衛生の向上と水路の水質保全のため、未整備区域の整備を進めます。

計画的なまちづくりを通じた居住環境の整備を踏まえ、開成町での暮らしに興味・関心を持つ方とのマッチングを図るなど、移住・定住施策を展開します。

【7 活力あふれる産業と地域の魅力を生かしたにぎわいのあるまち】

産業の維持・発展や関係人口・交流人口の増加に向けて、地域経済の活性化や産業の担い手育成、開成町の地域資源を活用した観光の充実に取り組みます。

農業に従事する人材を確保するため、農業に興味を持つ町民に耕作体験をしてもらう、ふれあい農園事業を引き続き実施するとともに、遊休農地を的確に把握し、営農を希望する担い手とのマッチングを進めます。

農とみどりの整備事業を活用し、農道や農業用水路を適切に維持管理します。

観光事業においては、開成町の三大イベントである「開成町あじさいまつり」「開成町納涼まつり」「開成町阿波おどり」を中心に、にぎわいの創出、関係人口と交流人口の増加及び地域経済の活性化を図ります。

また、町農産物の魅力をより多くの観光客に知っていただくことを目的とする、収穫体験などを含む着地型観光ツアーやインバウンドツアーの受け入れなどを通じて、観光振興を図ります。

【★ 将来都市像の実現に向けた行政経営】

第六次開成町総合計画前期基本計画に掲げる事業を着実に実行するために、協働や公民連携そして、広域連携を引き続き推進し、業務や行政サービスにおけるデジタル化を通じたDXにも積極的にチャレンジしていきます。

田舎モダンのまち・開成町の魅力をより多くの方に知っていただき、知名度を上げ、移住・定住を促進するとともに、シビックプライドを高めるために、広報・広聴事業にも一層注力していきます。

さらに、業務の一層の効率化と高度化を図るために、役場組織の最適化と生産性向上、人材の確保と育成に努めます。

そして、引き続き、財政の健全性と町の持続可能性を高めるための投資の両立を図ります。

具体的には、行政サービスのデジタル化などを通じた自治体DXについては、公共施設の一部において予約システムを構築し、PCやスマホから施設を予約できる環境を整えます。都市計画基本図の修正に合わせて3D都市モデルデータを作成し、このユースケースとして浸水想定区域における避難シミュレーションの作成を行います。また、電子契約を新たに導入し、契約事務の電子化により、事業者・町双方の利便性向上を図ります。

人材育成においては、引き続き主体的・計画的に能力開発に取り組む機運を醸成するとともに、より働きやすい職場を目指します。

持続可能な財政運営のための財源確保策として、ふるさと納税をこれまで以上に推進します。既存返礼品のPRをさらに強化し、新規返礼品の開発にもチャレンジしていきます。開成町の知名度の向上に繋げ、リピーターの増加などを通じて、政策的経費に充当可能な財源の確保に努めます。

また、企業版ふるさと納税にも引き続き注力し、まちづくりのパートナーの増加や定着を通じて、より意義のある公民連携の実現を目指していきます。

協働については、開成町協働推進計画に則り、各種公益団体等の皆様のお力をお借りし、ALLかいせいで課題の克服と事業の推進を図っていきます。

パブリックマインドをお持ちいただき、公共サービスの一端を担っていただいている団体の皆様には日頃のご理解とご協力に感謝しつつ、今後もなお一層のお力添えをいただきたく、よろしく願いいたします。町としてもその活動を引き続き支援してまいります。

町民各位におかれましては、我がまちの今と未来を自分事として捉えていただき、積極的にまちづくりに参画いただきたく、よろしく願いいたします。

公民連携については、コロナ禍を経て人々の価値観、即ち働き方や学び方、さらには生き方そのものの多様化が加速する中、同様に多様化、かつ複雑化する町民の皆様のニーズに応えていくためには、民間事業者との連

携が不可欠です。

今後も、様々な分野での協定締結に留まらず、民間事業者と実質的に効果や意義のある関係性の構築と事業の推進に努めてまいります。

開成町は町制施行 71 年目を迎える今日も尚発展を続ける恵まれた環境にあります。小田急線開成駅には快速急行が停まるようになり、民間の研究機関「人口戦略会議」の分類によれば、全国 65 の自立持続可能性自治体のひとつとされ、「住み続けたいまち」など民間のアンケートでは上位にランクされております。

これも偏に、先人の皆様のご英断とご尽力、そして、民間企業から投資をいただいたことのお陰と感謝申し上げますと同時に、現状に甘んじることなく、町の持続可能性を高め、たゆまぬ発展に繋げていくことが、今を生きている我々の、未来の開成町と開成町民に対して果たすべき使命であると認識しております。

社会環境の変化は速く、そして激しいものがあります。スマホや SNS は僅かここ 15 年の間に急速に普及し、今や我々の生活に欠かせぬものとなりました。AI に至っては、人類の歴史上の何よりも速い、驚異的なスピードで進化し、普及しています。

わが国の人口に関しては、少子高齢化が想定以上のペースで進行中であると同時に、非婚化・晩婚化が急速に進んでいます。高齢化率の上昇が確実である一方で、出生数の減少や出生率の低下はまだ底が見えていないとみるのが妥当だと思われます。

行政運営においては、これらの変化に柔軟に、かつ、機敏に対応することが求められています。変化を続ける社会環境に対して、前例踏襲に陥ることなく、未来志向でチャレンジしていくことが求められています。

職員一同、時代のニーズに応え、町民の皆様の幸せと開成町のたゆまぬ発展のために、そして、第六次開成町総合計画に掲げる将来都市像「人と地域が輝き、笑顔と躍動感あふれるまち・開成」及び将来目標人口 2 万人を実現するために、誠心誠意、職責を果たす所存です。

新年度の施策を進めるにあたり、議会の皆様には、ご理解と倍旧のお力添えを賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

以上で、令和 8 年度開成町当初予算案のご説明並びに町政運営に対する所信の表明とさせていただきます。よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。